



古田知事に式典の様子を伝える県日米協会の小川会長（左）と河合常務理事（右）＝県庁で

県日米協会

南加と橋渡しできた

米国での創立
100周年式典

知事に成果報告

来年創立二十五周年を迎える県日米協会の子常務理事が十四日、

県庁で古田肇知事と面談し、八月に米国で開かれた「南加（南カリ

フォルニア）県人会創立百周年記念祝賀式典」の成果を報告した。

古田知事は「百年続いたこと自体が大変なこと。各地の県人会の人たちを国体に呼ぶ手もある」と述べ、世界の招待を検討する考えを示した。

「南加との橋渡しができたことが一番の成果」と報告。小川会長は「県人会のネットワークを岐阜の英語教育に生かす方法を考えたい」と話した。

式典は八月に現地のホテルで開かれ、約百七十人が出席。県日米協会は県内全四十二市町村長から寄せられたメッセージや、大垣市特産の「升」約五百個を贈った。

参加した河合常務理事は、来年開催される岐阜清流国体に期待する県人会の声を紹介し

国体サッカーリハーサル社会人大会開会式（山本真嗣）

社会人大会開会式 大垣

一競技のリハーサルを